

熊本市町村広報担当者による合同特集

修復中の熊本城を見てほしい

「本丸の中に入れないから、ガイドそのものが無くなるんじゃないかと思いました」

そう話すのは「くまもとよかとこ案内人の会」副会長の多堀亞夫さん。熊本地震で観光ボランティアガイドの仕事にも大きな変化がありました。

「以前は天守閣や宇土櫓、本丸御殿などを中心に案内していましたが、今案内できるのは城の外回りだけ。それでもたくさんの方が城の修復状況を見に来てくれます」

ガイドの申し込みがあればできるだけ断らないと話す多



複数箇所石垣が損壊(写真は戌亥櫓)



同じ位置に復元するため整理された崩れた石垣



修復中の熊本城を案内するボランティアガイド



ボランティアガイド
多堀亞夫さん

堀さん。その姿勢の裏には、復興を支えてくれる人たちの感謝の思いがありました。

「被害と修復の状況を今こそ見ていただきたいですね。天守閣を覆うシートは網目状で、中の作業状況が見やすくなっています。復興過程を見てもいい、歴史や文化に触れながら熊本らしい案内をすることが、支えてくれた皆さんへの恩返しだと思います」

風評被害に負けない

「地震後、2週間ほどは道路や電気などのライフラインが使えず、観光施設は休業状態でした」と阿蘇市観光協会の稲吉淳一会長は振り返ります。営業を再開できても、風評被害が広がり集客に苦労したそうです。客足を取り戻すためにインターネットを使って「阿蘇は安全ですよ」と正しい情報を発信していますが、観光客数は地震前の5〜7割しか戻っていません。

「最近の観光客はインターネットで情報を集める人がほとんどです。その人たちに足



阿蘇市観光協会会長
稲吉淳一さん

を運んでもらうには、信頼度の高い口コミ情報が最も効果的」と稲吉会長は説明します。

「県民の皆さんもぜひ阿蘇に来てください。自然も大きなダメージを受けましたが、生まれ変わろうとする生命力が感じられ、以前とは違った表情が見られます。そこで見た景色や感動の思いを、私たちと一緒に発信してもらえたらうれしいです」



地盤沈下で寸断された道路も現在は通行できる(阿蘇市)



崩落した阿蘇大橋と土砂崩れの跡(南阿蘇村)



倒壊した拝殿(阿蘇神社)

一人一人が正確な情報発信を

取材をとおして、観光地の人々の復興にけるひたむきな姿勢と深い郷土愛を感じる事ができました。熊本城も阿蘇地域も、こうした人々の思いを糧に、少しずつ元の姿を取り戻しています。

熊本地震から約2年、復興は道半ばです。私たち一人一人が被災地の現状を知り、正しい情報を発信していくことも復興の力になります。古里への愛着と誇りを育み次世代へ受け継ぐことが、明るい未来をつくる「創造的復興」への近道なのかもしれません。

春のくまもとお城まつり

【期間】3月3日(土)～25日(日)

【ところ】熊本城二の丸芝生広場
および周辺

【問い合わせ先】
熊本城総合事務所
☎096(352)5900
※詳しくは、くまもとお城まつりのホームページをご覧ください。

火振り神事

【とき】3月17日(土)
午後6時～8時

【ところ】阿蘇神社

【問い合わせ先】
阿蘇神社
☎0967(22)0064

平成29年度
新酒

おいしい新酒が
でき上がりました。

お酒は20歳になってから。
妊娠中や授乳期の飲酒は
お控え下さい。
飲酒運転は法律で
禁止されています。

山村酒造合名会社
熊本県阿蘇郡高森町高森1645
Tel. 0967(62)0001 Fax. 0967(62)1820
http://www.reizan.com

阿蘇の酒
れいぜん

第三十回
新酒と
ふるさとの
味まつり

美味しい高森、食べにきなっせ

平成30年2月11日(日)～3月11日(日)